

**NEWS
01**

けい
**子宮頸がん・ヒブ・肺炎球菌
ワクチンの無料接種を開始**

対象者の予防接種費用が1月から無料に



☎ (222) 4894
市コールセンター

子宮頸がんや髄膜炎を予防するワクチンの接種が、一月一日(祝)から無料になります。無料接種の対象となるワクチンは、子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの三つ。いずれも重症化した場合に死に至る可能性があり、ワクチン接種による予防の効果が高いことから、先進国ではワクチンの普及が進んでいます。こうした背景から、国の制度を活用し、札幌市でも接種費用を無料にしました。これらのワクチンはいずれも任意の予防接種です。特別な手続きは必要ありませんので、ご家族などに対象者がいる場合は、予防接種を検討してみてください。

**手続きは必要
ありません**

対象の方は以下の予防接種を無料で受けられます

※医療機関によっては事前に予約が必要な場合があります

	子宮頸がん予防 ワクチン	ヒブワクチン	小児用肺炎球菌 ワクチン
効果	子宮頸がんの原因の約6割を占めるウイルスの感染を予防 ※予防接種だけではすべての子宮頸がんは防げないため、20歳以上の女性は2年に1度、子宮がん検診を受けてください	細菌性髄膜炎の原因の約6割を占めるヒブという細菌の感染を予防 ※細菌性髄膜炎…脳の髄膜に炎症が起こる病気。ヒブによる髄膜炎は、約5%が死亡し、約25%に重い後遺症が残る	細菌性髄膜炎の原因の約3割を占め、肺炎などを引き起こす肺炎球菌の感染を予防 ※肺炎球菌による髄膜炎は、約7%が死亡、約40%に後遺症が残る
対象	中1～高1相当年齢の女子 次のいずれにも該当する方 ●札幌市に住民登録または外国人登録がある方 ●中学1年～高校1年相当の年齢の女子(本年度は平成6年4月2日～10年4月1日生まれの方)	2カ月～4歳の子ども 次のいずれにも該当する方 ●札幌市に住民登録または外国人登録がある方 ●生後2カ月～5歳未満の方(5歳の誕生日の前日まで)	2カ月～4歳の子ども 次のいずれにも該当する方 ●札幌市に住民登録または外国人登録がある方 ●生後2カ月～5歳未満の方(5歳の誕生日の前日まで)
回数	3回 初回接種から1カ月後に2回目を、同じく6カ月後に3回目を接種 ※途中でやめてしまうと予防接種の効果が得られません。必ず3回の接種を受けてください	1回～4回 接種を開始する年齢(月齢)によって回数が異なります。 ●生後2カ月～7カ月未満…4回 ●生後7カ月～12カ月未満…3回 ●1歳以上…1回	1回～4回 接種を開始する年齢(月齢)によって回数が異なります。 ●生後2カ月～7カ月未満…4回 ●生後7カ月～12カ月未満…3回 ●1歳以上…2回 ●2歳以上…1回

◎助成が始まるのはいつから?
23年1月1日(祝)から助成制度が始まります。

◎接種のときは何が必要?
保険証や母子健康手帳など、氏名、住所、生年月日が確認できるものを持参してください。

◎助成される予防接種はどこで受けられるの?
市内の委託医療機関で受けられます。なお、接種には保護者の同伴が必要です。

委託医療機関はホームページwww.city.sapporo.jp/hokenjo/f1kansen/3vaccine.htmlと市コールセンター☎222-4894でご案内しています。